

食糧支援 ニュースレター



2009.11.11

Vol.29

TOPICS

- 深刻な資金難で食糧支援の縮小・停止の危機
- 「WFPの環境保全・改善活動」 シリーズその③
～気候変動と飢餓～
- フィリピン・ラオスの台風被害、インドネシアの地震被害に対する支援
- WFPパキスタン・イスラマバード事務所で爆発、職員5人が死亡
- 「食糧を食う」がHIV/エイズ治療の基本
- 横浜から「幸せ」をつなぐ「WFP × ARTIST × YOKOHAMA」
- WFP「地球のハラペコを救え。」ウェブサイトがSpikes Asia広告祭で金賞受賞
- 私たちのWFP支援 株式会社リソー教育
- 国連WFP協会 2009年1月～7月度寄付実績報告

深刻な資金難で食糧支援の縮小・停止の危機



バングラデシュでは支援の規模が大幅に縮小

国際連合食糧農業機関（FAO）の分析によれば、**2009年、世界の飢餓人口は史上初めて、10億2000万人を突破する見通しです**（グラフ参照）。世界の6人に1人近くが飢えているということになります。

1980年代から1990年代前半にかけては、飢餓問題には前進が見られ、飢餓に苦しむ人々の割合は減少傾向にありました。しかし、ここ10年間は状況が反転し、飢餓人口はじわじわと増加してきました。それに輪をかけるように、食糧価格の高騰による食糧危機と経済危機が起き、**世界の飢餓人口はこの1年でおおよそ1億人も増加しました。**

国際市場における食糧価格は下落傾向にあり、食糧危機はもはや終わったのかと思われがちですが、途上国内の食糧価格は2008年末時点で2006年比24%増と、依然として高止まり状態が続いています。一方で、食糧支援が最も必要とされている中、**世界の食糧支援量は過去20年間で最低レベル**にまで落ち込んでいます（グラフ参照）。1990年には1320万トンの食糧支援が実施されたものの、去年はその半分以下の630万トンにまで下がりました。

このような状況を受け、WFPは2009年、74カ国で1億8百万人を対象に食糧支援を計画し、必要予算を67億米ドル（おおよそ6,040億円）と見積もっていました。

しかし、現時点での世界各国からの拠出は総額37億米ドル（おおよそ3,330億円）に留まる見込みで、**このままでは30億米ドル（おおよそ2,700億円）が不足するという深刻な資金難に陥っています。**そのため、世界の飢餓人口のうち、WFPが支援した人々の割合は、去年は11%でしたが、今年は7.7%に留まる見込み

です（グラフ参照）。

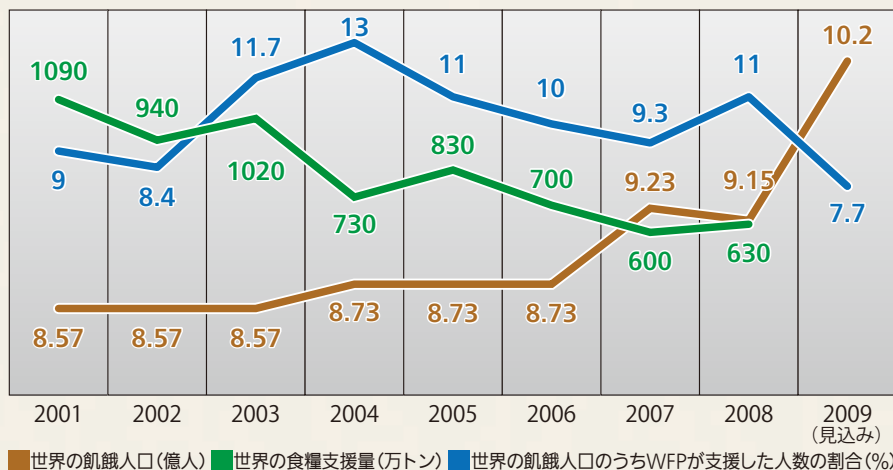
すでに支援対象者数や配給量の削減を余儀なくされた国も出てきています。中米の国、グアテマラでは9月、5歳以下の子どもたち10万人と、妊婦・授乳中の女性5万人への栄養強化食品の配給が停止されました。アジアの国、バングラデシュでは、食糧価格高騰によって飢餓に陥った人々500万人を対象に支援をする計画でしたが、資金難により100万人にしか食糧が配給できていません。支援対象から外れてしまった残りの400万人は、1日の食事の回数を減らしたり、あるいは丸1日何も口にできなかったりすることもあり、空腹に耐えながらの苦しい生活を強いられています。

います。

特に影響が心配されるのは、小さな子どもたちです。成長期に十分な栄養を摂れないと、身体的・知的発達の遅れにつながり、さらにその子どもが住む国の経済に大きな損失をもたらします。生涯にわたる身体的・知的発達障害や生産性の低下により、1年当たり200～300億ドルあまりの経済的損失が生じているといわれています。

今年の1月から10月までの間に、WFPは日本政府から約2億ドルのご支援を頂きました。世界的に食糧支援が伸び悩むなか、日本政府による継続的かつ多大な貢献に感謝いたします。9月の国連総会で鳩山首相が「平和構築・開発・貧困」を新政権の重要課題の一つとして位置づけ、「ミレニアム開発目標（MDGs）の達成と人間の安全保障の推進に向け、努力を倍加したい」と述べたことは、世界で飢餓と貧困に苦しむ人々にとって大きな励みであり、期待を寄せています。また、近年、WFPを支援して下さる日本の企業や団体、個人の方も増えています。厳しい経済状況が続きますが、皆様のご支援は途上国の人々の希望の源であり命綱ともなることをご理解いただき、一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

世界の飢餓人口・食糧支援量・WFPの支援対象者割合



「WFP の環境保全・改善活動」 シリーズその③ ～気候変動と飢餓～

気候変動に対する関心は、国内的にも国際的にもますます高まっています。9月にニューヨークで開催された国連気候変動サミットで、鳩山首相が「2020年までに温室効果ガスを1990年度比で25パーセント削減する」と表明し、世界の注目を集めたのはご存知の通りです。さらに、今年の12月にデンマークで開催される、国連気候変動枠組み条約第15回締約国会議（COP15）では、2012年で期限が切れる京都議定書に代わる新たな国際的な温暖化対策の枠組みができるのか、期待が高まっています。

気候変動と飢餓には密接な関係があります。近年、気候変動の影響か、干ばつや洪水、ハリケーンなどといった自然災害や異常気象が急激に増加しています。世界銀行の統計によれば、自然災害の報告件数は1975年には年間100件だったのが、2005年には400件と、30年で4倍にもなっています。予測困難な自然現象が頻繁に起こるようになった結果、貧困と飢餓に苦しむ人びとの生活はますます脅かされています。

特に脅威にさらされているのは、サハラ砂漠以南のアフリカ諸国です。「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」によれば、灌漑設備を持たず雨水に依存する農業をし

ているアフリカの地域では、干ばつにより農作物の生産量が2020年までに半減する可能性があると言われており、アフリカの農業の9割以上はこのような雨水依存型であることから、深刻な影響が予想されます。たとえば、マリでは国民全体に占める飢餓人口の割合が、現在の34%から、2050年代には64～72%にまで増加するとの予測が出ています。

気候変動への対策として、WFPは「緩和策」と「適応策」という二つの側面からさまざまなプロジェクトを実施しています。

「緩和策」とは、温室効果ガスの排出量を削減し温暖化の進行を食い止めることです。そのために、WFPは世界各国で植林をしており、2006年～2008年の間だけでも、2千万本以上の木を植えました。

「適応策」とは気候変動によって起こる異常気象などの悪影響を最小限に食い止めるために行う対策のことです。WFPは世界各国で、井戸や貯水池、堤防などを作ることで、干ばつや洪水による家屋損壊や農作物被害を最小限に

抑える取り組みを行っています。また、異常気象が起きても農作物が無事育つよう、土壌改良や灌漑・排水設備の整備も進めています。

これらのプロジェクトは、地域の住民が参加して行われます。住民が植林や井戸の掘削などのプロジェクトに参加し、労働力を提供すると、WFPから見返りとして食糧の配給を受けることができます。住民にとってみれば、食糧が確保できるとともに、地域の社会基盤も整備され、一石二鳥というわけです。

世界の飢餓状況の改善のためには、気候変動への対策が欠かせません。どうぞ皆様のご理解とご支援をお願いいたします。



干ばつに苦しむ人々

© WFP/Peter Smerdon

フィリピン・ラオスの台風被害、インドネシアの地震被害に対する支援

9月末に襲来した台風「ケッツアーナ」は、フィリピンとラオスに甚大な被害を及ぼしました。フィリピンでは過去40年間で最悪の豪雨を首都マニラや周辺地域にもたらし、政府の報告によると、400万人近くが被災、100万人近くが避難生活を余儀なくされました。WFPはフィリピン政府の要請を受け、最も被害の大きかった首都マニラ周辺に住む被災者に対し、米、豆、植物油、栄養強化ビスケットを3ヶ月間にわたって配給する予定です。またヘリコプターやボートを出動させ、支援物資の迅速な輸送に努めているほか、緊急情報通信システム網を構築し、WFPのみならず他の国連諸機関・NGOなどにも提供しています。

同じ台風によりラオスでも記録的豪雨が発生し、南部を中心に大規模な洪水が発生、25万人が被災しました。WFPはラオス政府と連携し、緊急食糧支援を開始。初動支援として、90%以上の土地が冠水した地域で、3000人を対象に米と魚の缶詰を配給しました。

また、インドネシアのスマトラ島では9月30日、大地震が発生し、多くの死傷者が出ました。WFPは12月まで被災者への支援を行う予定で、すでに現地で栄養強化ビスケットや麺の配給を行っています。

現在、フィリピン、ラオス、インドネシアで発生した自然災害に対する支援活動を行うため、募金へのご協力をお願いしています。皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。



© WFP/Veejay Villafranca

WFPは被害の大きかった地域を中心に大規模な緊急支援を展開

ゆうちょ銀行から

口座番号：00290-8-37418 加入者名：国連 WFP 協会

金額：ご寄付額を明記ください。

寄付金の使途を指定される方は通信欄に「インドネシア」「フィリピン」「ラオス」など、寄付金を送りたい国名をご記入ください。

ホームページ（www.wfp.or.jp）から

募金使途欄にて「緊急支援」をご選択のうえ、自由記載欄に国名をご記載ください。

お問い合わせ：国連 WFP 協会

☎ 0120-496-819 月曜日～金曜日〔祝日を除く〕 09:30～17:30

WFPパキスタン・イスラマバード事務所で爆発、職員5人が死亡

パキスタンの首都、イスラマバードにある WFP の事務所で 10 月 5 日 12 時 15 分頃（現地時間）爆発があり、WFP 職員 5 人が死亡しました。地元警察は自爆テロによる犯行と見て捜査を進めています。死亡したのはイラク国籍やパキスタン国籍の職員。負傷者の中には重傷者もあり、病院で手当てを受けています。

WFP のジョゼット・シーラン事務局長は、事件を受けて声明を発表。「今回の爆発に巻き込まれ死亡・負傷した職員の御家族、御友人や同僚の皆さんに心より哀悼の意を表します。WFP はパキスタンで食糧難に苦しむ何百万人もの人々の命を救うため飢餓の最前線で食糧支援を行っており、殉職した職員はまさに人道支援の英雄でした。今回の事件は、WFP のみならず、人道支援コミュニティー、そして飢えている人々にとって、まさに悲劇としか言いようがありません。」と述べました。



爆発翌日の WFP イスラマバード事務所の様子

「食べること」が HIV/ エイズ治療の基本

世界では、およそ 3,300 万人の人々が HIV/ エイズに感染していますが、HIV/ エイズの治療を効果的に行うには、患者が薬とともに十分な栄養を摂取しているということがとても重要です。基礎体力が衰えている状態では薬も効かない上、空腹状態で薬を飲むことは体への負担が大きく、患者は薬を継続的に飲まなくなってしまうからです。このため、WFP は HIV/ エイズ感染者の栄養状況を改善するため食糧を配給する取り組みを 50 カ国以上で行っています。

スワジランドに住むヴズイーさんはエイズ患者。抗レトロウイルス薬による治療を受けています。ヴズイーさんの妻もやはりエイズに感染しており、治療を受けていま

したが、栄養不足がひどかったため 2 年前に亡くなってしまいました。この経験から、ヴズイーさんは毎月必ず WFP が配給する食糧の配給を受け、しっかりと栄養をとるようにしています。「WFP から食糧の配給を受け始めた頃、私は文字通り寝たきりでした。それが 2 か月程すると、徐々に体力を取り戻しました」とヴズイーさん。トウモロコシと大豆の粉にビタミン・ミネラルを加えた栄養強化食品を月に 7 キロ受け取り、食事とともに毎日欠かさず薬を飲んでいました。今では 3 人の子どもの世話をし、地域の HIV/ エイズ感染者を支援するプロジェクトでボランティアをする程に回復しました。ヴズイーさんは、「みんなに、治療のためには食えることが大切だ

と教えています。」と話しています。

12 月 1 日は世界エイズデー。HIV/ エイズ感染者の人々が十分な栄養を摂り、健康な生活を送れるよう、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



エイズ治療には十分な栄養が欠かせないというヴズイーさん

横浜から「幸せ」をつなぐ「WFP × ARTIST × YOKOHAMA」

横浜タカシマヤが、9 月 16 日から 29 日まで、WFP チャリティイベント「WFP × ART × YOKOHAMA」を開催しました。これは、横浜タカシマヤ開店 50 周年を機に、横浜から世界に向けて「幸せ」をつなげようというテーマのもと、同じ横浜に日本事務所を置く WFP を支援することを目的に実施されました。

期間中は、様々なチャリティアート展示やチャリティ商品の販売、オークションが行われました。現代アートの第一人者・日比野克彦さん監修のもと、アーティストやボランティアの皆さんが WFP の学校給食のシンボルマークである赤いカップをイ

メージして作った「幸せをつなぐ FUNE」なども展示。初日には、音楽評論家・作詞家で国連 WFP 協会顧問の湯川れい子さん率いる「湯川れい子と東京女声合唱団 with VOJA」のライブが正面特設ステージで行われ、迫力あるゴスペルミュージックに会場が沸きました。

タカシマヤは日頃より、「友の会」入会キャンペーンを通しての寄付や、カタログギフトの選択肢に「WFP への寄付」を導入するなど、WFP を様々なかたちで支援しています。11 月には恒例の「チャリティサント」の販売が全国のタカシマヤでスタート。どうぞお楽しみに。



「幸せをつなぐ FUNE」モニュメント

WFP「地球のハラペコを救え。」ウェブサイトがSpikes Asia広告祭で金賞受賞

Spikes Asia は 2009 年から新設されたアジア地域で注目される大規模な広告祭です。その記念すべき第 1 回が 2009 年 9 月 16 日から 18 日にかけてシンガポールで開催され、およそ 2700 点の作品がアジア地域から出品されました。

この広告祭のデジタル部門において、WFP が(株)電通とのタイアップのもとに制作した「地球のハラペコを救え。」ウェブサイトが、グランプリに次ぐ金賞の一つとして選出されるという快挙を成し遂げました。

「地球のハラペコを救え。」ウェブサイトは、世界の飢餓の状況を知ってもらい、状況の改善に向けた行動を提案するもの。2 次

元バーコードを用いて PC と携帯電話を連動させるという新しい仕組みのサイトです。このサイトを訪れた人は、携帯電話で 2 次元バーコードを読み込み、PC と携帯の画面を行き来しながら、世界の飢餓の状況について学んだり、「地球のハラペコを救え。」のシンボルマークをダウンロードしたり、募金をしたりすることができます。

まだサイトを訪れたことのない方はこの機会に是非ご覧ください。検索サイトで「ハラペコ」と入力していただくと上位に表示されます。または右記のアドレスを直接入力してください。



「地球のハラペコを救え。」ウェブサイト

<http://hara-peko.jp>

私たちの WFP 支援 株式会社リソー教育

進学個別指導塾「TOMAS」や家庭教師センターの名門会、幼児教育の伸芽会などを展開するリソー教育グループは、「勉強+1」をキャッチフレーズにして幅広く教育事業を展開しています。同社が主催する子ども達向けのイベントでは、募金活動やパネル展示などの取り組みを通じて WFP を支援しています。2009 年のクラシックコンサートおよびバレエ公演は、「世界の友だちに、きみのやさしさを」というテーマのもと、入場料の代わりに WFP の学校給食プログラムへの支援を募るチャリティーイベントとして開催されました。当日は同社

の社員が、来場した子ども達やそのご家族一人ひとりに募金への協力を呼び掛け、2 つのイベントで寄せられたご寄付の総額は 2,150,231 円にのびりました。また、会場では WFP のパネル展示やビデオ上映も実施。世界の飢餓の現状を伝える写真に、子ども達は真剣な眼差しを向けていました。

また同社は、WFP 生徒作文コンクール実施の際に作品募集要項を各スクールに配置するなど、広報面でも WFP をサポートしています。

本社の鈴木伸東さんは、「チャリティーイベントの開催などを通じて、『人のために何

かできることはないかという思い遣りの気持ち』を子ども達に育んでももらいたいと思います。そして、ひとりでも多くの途上国の子ども達が WFP の支援を通じて教育を受けられるといいですね。」と語りました。



WFP の展示コーナーで飢餓について学ぶ子ども達

国連 WFP 協会 2009 年 1 月～7 月度寄付実績報告

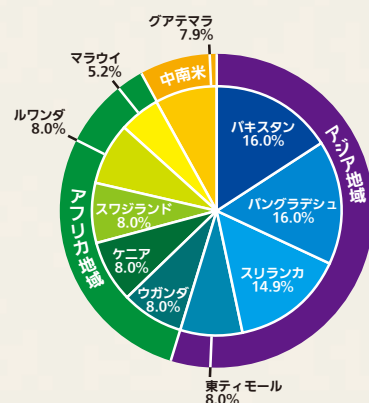
2009 年 1 月～7 月に国連 WFP 協会に寄せられた企業・団体、個人からのご寄付は、合計で 254,440,290 円となりました。

「平素から皆様方には WFP の活動に対し深いご理解と多大なご支援を賜り誠に有難うございます。世界的な景気後退が続く中で、国内景気も厳しい環境下にありますが、皆様方のご理解、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。」と、国連 WFP 協会専務理事の田邊邦典は述べています。

今号の冒頭でもお伝えしましたように、現在、世界ではいまだかつてない規模で飢餓が広がっており、2009 年には飢餓人口が 10 億人を突破すると見られています。食糧支援が最も必要とされている今、皆様の今一層のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

皆様からお預かりしたご寄付のうち 187,681,794 円^注は、既に WFP ローマ本部に送金し、右に示した割合で、各国で行われている WFP のプロジェクトに活用させていただいております。詳しいご寄付の使途とその成果についてはホームページ (www.wfp.or.jp) に随時レポートを掲載いたしますので、是非ご覧ください。

注) 皆様からお預かりしたご寄付の 75% 以上は国連 WFP 協会より WFP ローマ本部に送金され、現地における食糧支援活動に充てられています。なお、ご寄付の 25% の範囲内で、国内での募金活動、啓発宣伝費、管理費等の事業経費に充てさせていただいております。



WFP 国連世界食糧計画日本事務所

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 パシフィコ横浜 6 階
www.wfp.or.jp

国連 WFP 協会

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 パシフィコ横浜 6 階
TEL . 0120-496-819 月曜～金曜 (祝日を除く) 9:30～17:30
FAX . 045-221-2534
www.wfp.or.jp